

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成24年4月5日 (2012.4.5)

【公開番号】特開2011-256504(P2011-256504A)

【公開日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2011-051

【出願番号】特願2010-133923(P2010-133923)

【国際特許分類】

A 4 1 H 15/00 (2006.01)

A 4 1 H 1/02 (2006.01)

D 0 5 B 97/00 (2006.01)

A 4 4 B 99/00 (2010.01)

【F I】

A 4 1 H 15/00 Z

A 4 1 H 1/02 A

D 0 5 B 97/00

A 4 4 B 21/00 6 1 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月22日 (2012.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

枢軸（１）によって開閉可能に枢着され、該枢軸（１）よりも先端側を挟持部（２）とし、後端側を開閉操作部（３）とし、常時、ばねによって先端側の挟持部（２）に閉合力を付与された一对のクリップ片（４，５）を主体とし、このクリップ片（４，５）の前記挟持部（２）の外面に前記枢軸（１）付近から先端側に向けて目盛（６）を設けた裾上げ用クリップであって、

前記一对のクリップ片（４，５）の挟持部（２）に滑り止め手段（７）が設けてあり、この滑り止め手段（７）は、一方のクリップ片（４）の挟持部（２）の内面にゴム凸部（７ｇ）を設置し、これに対応する凹部を他方のクリップ片（５）に設けてなることを特徴とする裾上げ用クリップ。

【請求項 2】

前記ゴム凸部（７ｇ）を、一方のクリップ片（４）の挟持部（２）の内面に 1 又は 2 以上設置し、前記凹部を、凹穴（７ｉ）により構成して他方のクリップ片（５）に設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の裾上げ用クリップ。

【請求項 3】

前記ゴム凸部（７ｇ）を、一方のクリップ片（４）の挟持部（２）の内面に長手方向に適宜の間隔で複数に分散して設置し、前記凹部を、複数のゴム凸部（７ｇ）に対応するスリット状凹部（７ｈ）により構成して他方のクリップ片（５）に設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の裾上げ用クリップ。

【請求項 4】

前記一对のクリップ片（４，５）の挟持部（２）の先端側に幅方向両側に広くされた拡張部（４ａ，５ａ）を備えていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の裾上げ用クリップ。

【請求項 5】

前記ゴム凸部（7g）を、一方のクリップ片（4）の拡幅部（4a）の内面に設け、前記凹部を、凹穴（7i）により構成して他方のクリップ片（5）の拡幅部（5a）に設けたことを特徴とする請求項 4 に記載の裾上げ用クリップ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

